

ふくしま国語塾 受講規約（オンライン生B用）

2024/06 版 | 株式会社横浜国語研究所

1. 契約・解約

◎契約

- ・申込フォームからのメールに対し当社が返信を行った時点で契約成立となります。オンライン生Bは特商法の対象外となります。契約書の取り交わしは行いません。クーリングオフはありません。
- ・解約の申し出がない限り、1ヶ月ごとに契約は自動更新されます。

◎解約

- ・保護者様が解約フォームからメールを送信した月の月末をもって解約できます。月の途中で視聴をやめる場合も、当月分の返金を行いません。一方、翌月分を既に振り込んでいる場合は、振込済の翌月分授業料を全額ご返金します（ただし振込手数料を除く）。／入塾金の返還はありません。／教材購入に要した費用の負担も致しません（使用・未使用にかかわらず）。

2. 費用（全て税込）

◎月額授業料 18,000 円

- ・毎月一定額です（カレンダーにより月3回受講となる場合でも月5回受講となる場合でも同額）。
- ・毎年8月は「通常授業」を完全休講としますので、8月分の授業料は一切不要です。
- ・月額授業料は、契約する月のみ回数割で計算します（その月の授業回数が分母）。

◎入塾金 10,000 円

- ・入塾金の納入は初回のみです（初回授業料と同時に全納／一度退塾し再入塾するケースで、間が6か月以上空いている場合は、再度の納入が必要です）。

◎兄弟姉妹が同時在籍する場合の割引はなく単純に人数倍となります。1名だけが費用を払い、他の兄弟姉妹が同時に見る、といった受講方法は禁止です。必ず人数分の費用をお支払いください。

◎教材費等

- ・教材費は徴収しませんが、下記の教材は**すべて生徒側で購入・準備**していただきます。既に持っている場合は、それを使ってかまいません（新たな購入は不要）。

——全生徒必須の教材——

- ・『[ふくしま式「本当の語彙力」が身につく問題集 \[小学生版\]](#)』（福嶋隆史著・大和出版）
- ・『[国語読解 \[完全攻略\] 22 の鉄則](#)』（福嶋隆史著・大和出版）
- ・『[こころの処方箋](#)』（河合隼雄著・新潮文庫）
- ・ノート（[原稿用紙タイプ](#)や方眼タイプなど、文字数を数えやすいものが望ましい）

——曜日時間帯別の教材——

- ・水曜 19:40 枠のみ：『[高校生のための評論文キーワード 100](#)』（中山元著・ちくま新書）

——その他——

- ・『[まゆみのマーチ](#)』（重松清著・新潮文庫）必要な時期にご連絡します
- ・その他、必要な本が生じることがあります

- ・上記の書籍は、常に使用するわけではありません（自著（福嶋著）以外は使用頻度低めです）。
- ・随時使用するプリント教材のデータは、メール添付にて送信します（別途費用は生じません）。
- ・オンライン受講にともなう機器代・電気代・通信費・紙代等は全て生徒側のご負担となります。

◎支払方法

- ・月額授業料及び入塾金のいずれも「銀行振込」のみとなります。
- ・**振込口座** 当社の口座は「ゆうちょ銀行」のみとなります（ゆうちょ口座からの送金、または他行

からの送金、どちらも可)。口座番号等はお申込メールへの返信時にお知らせします。

- ・**振込期日** 毎月末*までに翌月分授業料を納入します(*末日が銀行等休業日ならば翌営業日まで)。
8月は授業がないため納入不要です。金額は毎月一定であり当社から振込金額をその都度ご連絡することはありません。引き落とし制ではありませんので毎月のお振込（または自動送金設定）をお願いします。振込手数料が生じる場合は生徒側負担です。
- ・**受領メール** 保護者様のメールアドレス宛に受領メールを送付します（紙の領収書は原則発行しませんが受講費用に対する補助金を勤務先から得る場合など特に必要な場合はお知らせください）。
- ・**振込期限が守られない場合** 常識的なことですが、期限日は、「送金作業を行った日」ではなく、当社口座への「着金日」となります。滞納の頻度に応じ強制解約となります。

3. 予定休講

- ・1ヶ月以上前に告知※された休講を予定休講と呼びます（※告知は、ホームページ上への掲載及び全在籍者宛一斉メールによって行います）。これに対する振替・返金等は一切行いません。具体的には、7月下旬及び8月の**夏期休講**、**年末年始休講**、及び**臨時休講**を指します。臨時休講は、主に曜日ごとの授業回数を均等にするための調整を目的として行います。
- ・**祝日**は自動的に休講となります。逐一の連絡はしておりません。
- ・**1ヶ月以上前に告知しない臨時休講** 万一、指導者の病気・怪我、他の急な都合により、当該授業日の1ヶ月前を過ぎ、当日までの間に臨時休講が決まった場合には、他の枠への振替を行います。

4. 指導形態、録画提供等

- ・サイトに記載のとおり、**オンライン生Bは、発言機会も質問機会もなく、添削も受けられません**。
- ・出欠はとりません。遅刻の連絡等も一切不要です。
- ・授業をリアルタイムで視聴するための zoom ミーティングのアドレス（及びID/パスワード）は、曜日時間帯ごとに設定し、**月1回送信**します（前月末か当月初め）。送信先は、生徒用アドレスがある場合はそちらのみに送信し※、ない場合は保護者様のアドレスに送信します（※小学生の場合は保護者様にも送信するケースがあります）。
- ・**zoom 録画のリンクを、授業後に送信**します（当日または翌日/送信先は上記と同じ）。授業中の個別的指導（つまりお説教）が録画されてしまった場合は極力カットしますが、どうしてもカットが難しい場合に限り、その回の録画リンク提供を見合わせ、他の同等内容の授業が行われた日の動画の提供で代替することがあります。
- ・**指導内容、指導形態、時間割、災害時対応**については、通塾生・オンライン生Aの受講規約と同一ですから、そちらをご確認ください（サイトに[リンク](#)あり：契約の項目）。
- ・その曜日時間帯の対象学年の上または下の学年であっても、受講可能です（たとえば、中3までに設定された枠を高2が受講する、など）。ただし、入塾可能な学年はあくまでも小3～高3（+浪人1）のみであり、小2や大学生等が受講することはできません。
- ・通塾生及びオンライン生Aは、1週間当たり1回しか受講できませんが、オンライン生Bは、希望があれば週に2回の受講も可能です（17:30 枠と 19:40 枠を1コマずつ）。たとえば、中1だが国語力に自身がなく、小学生対象の授業と中学生対象の授業を両方見たい、といったケースです。ただし、内容がかぶる場合があります。授業料は単純に2倍となります（入塾金はプラス5,000円で可）。
- ・**受講枠を変更したい場合は、翌月から可能です**。メールにてご連絡ください。
通塾生・オンライン生Aでは頻度に応じ変更手数料が必要ですが、オンライン生Bでは不要です。
校種・学年が上がり必然的に受講枠が変更になる場合は、当社から事前にご連絡します。

以上